

献された加藤孝子氏、スポーツ推進審議会委員として貢献された池田浩三氏、社会福祉協力委員として貢献された桐ヶ谷茂子氏、学校歯科医として貢献された松永良治氏、予防接種医として貢献された松山健氏、瀬在由美子氏、木野村幸彦氏、交通安全推進委員会委員として貢献された橋本達男氏、須藤久光氏、町田俊文氏、廃棄物減量等推進審議会委員として貢献された澤井多恵子氏、廃棄物減量等推進委員として貢献された牧野邦次氏、明るい選挙推進委員として貢献された関根正義氏、保護司として貢献された久保田ふみ氏、消防団員として貢献され、現在もお活躍されている宇津木啓員氏、高橋直之氏、太田正樹氏、本木涉氏、北島邦章氏、古谷清幸氏、前田文昭氏、岸波昭弘氏、宮本徹氏、田光隆司氏、露木隆司氏を一般表彰するもの。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第2号)

低所得世帯支援給付金給付事業において、給付対象となる世帯数が当初の見込みから大幅な増加となったことに伴い、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億5945万円を追加し、358億1941万4千円とするもの。歳入は、国庫補助金の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金。歳出は、社会福祉費の低所得世帯支援給付金給付事業で、事務費及び給付金の増額。

●福生市教育委員会委員の任命について

任期満了に伴い、引き続き野口哲也氏を教育委員会委員として再任することに同意するもの。

●福生市議会議員定数案の一部を改正する条例(議員提出議案第1号)

福生市議会議員の定数を現行の19人から18人に改正し、次回一般選挙から適用するもの。

●福生市議会議員定数案の一部を改正する条例(議員提出議案第2号)

福生市議会議員の定数を現行の19人から17人に改正し、次回一般選挙から適用するもの。

●福生市長等の給与の臨時特例に関する条例

度重なる職員の不祥事に対する管理監督責任として、市長及び副市長の給料を6月から8月の3か月間、市長は給料月額

から100分の20、副市長は100分の10を乗じて得た額を減じるもの。

委員会の審査から

各常任委員会から報告された 主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

6月11日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

●福生市下水道条例の一部を改正する条例

福生市内に登録のある指定下水道工事店の営業所は幾つあるのか、複数の営業所登録をしている工事店はあるのか、また、この改正による影響を伺う。

令和6年4月1日時点で208店舗の登録があり、複数の営業所登録のある指定下水道工事店はない。都内に営業所があれば指定下水道工事店に指定されるため、改正による大きな増減はないと考えている。

条例が改正された背景を伺う。

国は、デジタル改革、行政改革、規制改革を計画的かつ効率的に進めるため、デジタル原則に照らした規制の一括見直しプランを令和4年6月に策定した。常駐・専任規制を含めたアナログ規制について見直しを図ることになり、国土交通省が定めている標準下水道条例においても、指定下水

道工事店は、営業所ごとに責任技術者を専属させていたものを、同一の都道府県内は兼任することを妨げない旨の改正が行われており、本条例も同様に変更する。

令和6年度福生市一般会計補正予算(第1号)

建設環境委員会所管(建設環境委員会所管) 町会等活動支援事務の備品購入費で購入する品目、数量、金額等について伺う。

ガスボンベ式発電機3町会に各1台で35万6400円、折り畳みテーブル6町会に各2台で4万1522円、パイプ椅子2町会に各4脚で13万7368円、高座椅子2町会に各5脚で11万3190円、スポットエアコン1台で20万2000円、かき水機2町会に各1台で23万9662円、ガス式焼き鳥機1台で11万円、プロジェクター及びスクリーン1台で11万3000円、ワイヤレスアンテナ1台で7万2600円、テント2町会に各1台で19万8千円、ハンドマイク付きメガホン2町会へ各2台で12万2760円、プリンター6町会に各1台で23万8800円、空気清浄機1台で8万2800円、自動掃除機1台で4

万9801円。 町会等活動支援事務の備品購入費での品目選定方法を伺う。

各町会・自治会の希望を伺い選定している。

福生・昭島発!地酒と深層地下水の魅力を広める協議会の事業概要と構成メンバーを伺う。

福生市の地域資源である地酒と昭島市の地域資源である水の魅力発信、歴史、文化とともに、食を共通項とした近場で楽しめるツーリズムの造成を目指すもので、拝島駅を基軸として、流入人口増加の機会創出や経済波及効果を目的に事業を展開する。構成団体は、福生市、昭島市、福生市観光協会、一般社団法人昭島観光まちづくり協会、グッドライフ多摩の5団体で、アドバイザーとしてJR東日本、西武鉄道、多摩大学にも参加いただく。

福生市昭島発!地酒と深層地下水の魅力を広める協議会の事業概要と構成メンバーを伺う。

市民厚生委員会

6月12日に委員会が開催され、2件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情1件は、不採択となりました。

令和6年度福生市一般会計補正予算(第1号)

市民厚生委員会所管(市民厚生委員会所管) 障害者福祉事務のシステム改良ということだが、具体的な内容について伺う。

国において、3年に一度、障害福祉サービス等の報酬改定が行われる。今回の改定では、障害福祉分野の人材確保やサービスの質の確保・向上を図るほか、障害福祉現場で働く方々の処遇改善を行い、ベースアップにつながる加算方法の変更等が行われた。この改定に伴い、請求サービスコードの追加・削除が見込まれる。市においても、国から提示されるサービスコード表を障害福祉システムで利用する形式へ変換するための改修費用を予算計上する。

令和6年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴い、加入者情報の通知を行うことになった経緯、概要について伺う。

令和5年度に個人番号に本人と異なる保険証の資格情報がひもつけられるなどの誤りが発生したことを受け、各医療保険者においてデータ全体の確認作業が行われた。国から、そうした対応を踏まえ、令和6年12月2日からの保険証廃止を前に、情報の正確性を担保し、被保険者の皆様が安心してマイナンバーカードの保険証利用ができるようにすることを目的に、各医療保険者が把握している個人番号の下4桁を含む加入者情報について、マイナンバーカードの保有や保険証利用の登録の有無にかかわらず、原則全ての被保険者等を対象に通知するよう依頼があったことから、実施するものである。

マイナンバーカードを作っていない方や保険証の利用登録をしていない場合は、戸惑う人もい

るのではないかとと思う。通知内容はどのようなものにする予定か伺う。

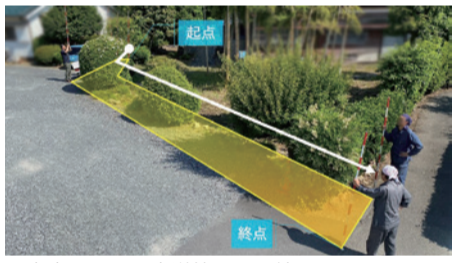
マイナンバーカードをお持ちでない方や保険証の利用登録をしていない方にも、通知の意図が分かるように、実施の経緯や趣旨などについての説明文を同封し、分かりやすい内容にしたいと考えている。

総務文教委員会

6月13日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決及び同意されました。また、陳情2件については、不採択が1件、継続審査が1件となりました。

福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

就学援助費及び特別支援教育就学奨励費の支給事務を、個人番号の独自利用事務として定める自治体は、東京都



▲廃止となった市道第257号線



▲4月に設置されたこども家庭センターを視察